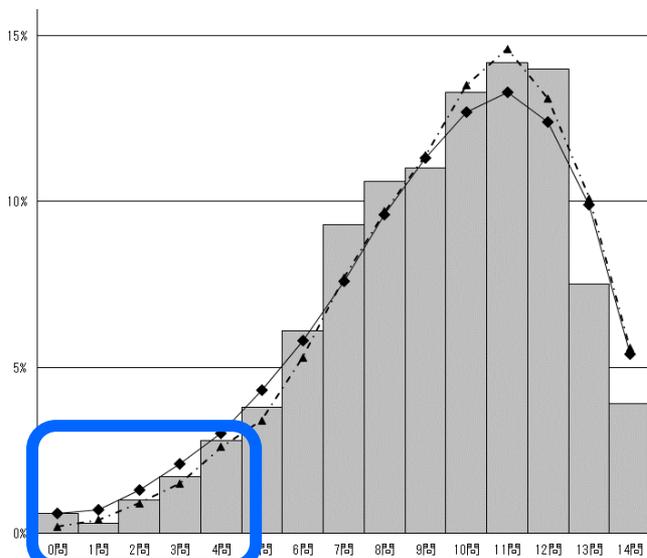


## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目から、上位2項目を抽出

|     | 問題番号 | 正答率 (%) |      |      | 県との差 | 全国との差 | 問題の概要   | 出題の趣旨   |
|-----|------|---------|------|------|------|-------|---|---|
|     |      | 中津市     | 大分県  | 全国   |      |       |   |   |
| 全体  |      | 67      | 69   | 66.8 | -2   | +0.2  |   |   |
| 課題① | 1一   | 47.7    | 52.1 | 53.3 | -4.4 | -5.6  | 【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する。 | 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。 |
| 課題② | 2二   | 59.4    | 63.4 | 63.1 | -4.0 | -3.7  | 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。          | 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる。                                |

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

| 正答数  | 割合(%) |     |     |
|------|-------|-----|-----|
|      | 中津市   | 大分県 | 全国  |
| 0～4問 | 6.4   | 5.6 | 7.7 |

平均正答率30%未満の児童の割合は、全国と比べると少ない。

## 2 授業改善に向けて（主に課題①②と対応）

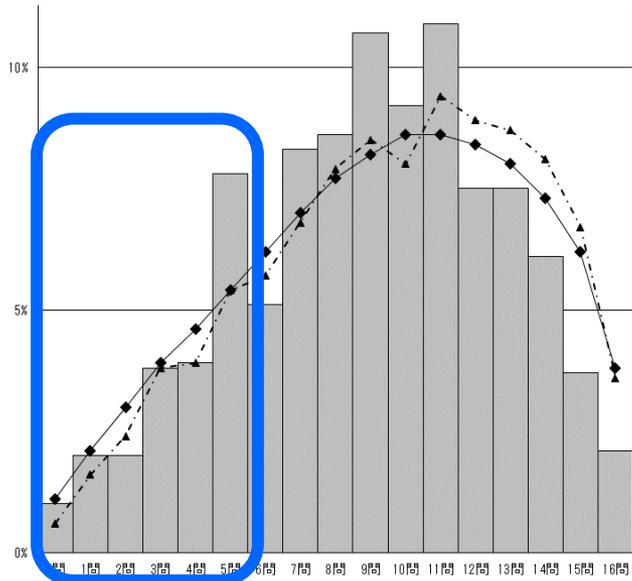
### 話すこと、聞くことに関する指導

- 話し合いの場面において、自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すために、質問したいことを分類したり関係付けたりする。
- 話し合った内容を記録する際に、語句と語句を線でつなぐなど書き表し方を工夫する。
- インタビューなどで自分が聞こうとする意図に応じて、相手から具体的な内容を引き出したり、引き出した相手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理し、考えをまとめたりする。

## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目から、上位2項目を抽出

|     | 問題番号     | 正答率(%) |      |      | 県との差  | 全国との差 | 問題の概要   | 出題の趣旨  |
|-----|----------|--------|------|------|-------|-------|---|--|
|     |          | 中津市    | 大分県  | 全国   |       |       |   |  |
| 全体  |          | 56     | 60   | 58.0 | -4    | -2    |   |  |
| 課題① | 2<br>(2) | 43.3   | 55.9 | 50.2 | -12.6 | -6.9  | 方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ。  | 台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。                             |
| 課題② | 1<br>(2) | 24.5   | 32.8 | 31.0 | -8.3  | -6.5  | 都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く。 | 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。 |

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

| 正答数  | 割合(%) |      |      |
|------|-------|------|------|
|      | 中津市   | 大分県  | 全国   |
| 0～5問 | 20.5  | 17.7 | 20.1 |

## 2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

### 図形の性質などに関する指導

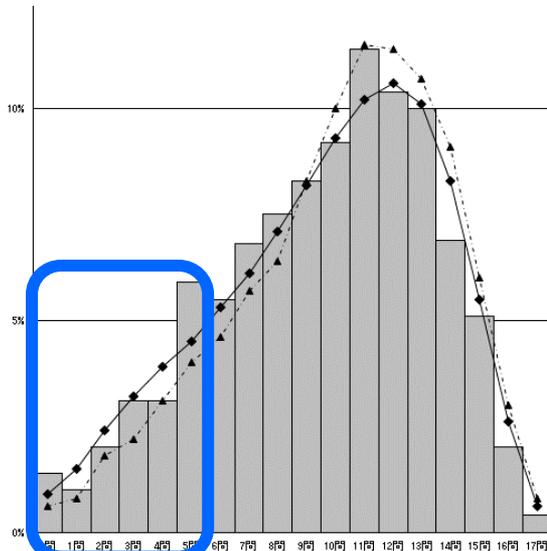
- 図形の学習では、観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素とその関係に着目する。
- 図形の性質や図形の構成の仕方、図形の計量について筋道を立てて考察することが重要。
- 辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目して、図形の構成の仕方を考えたり、図形の性質を基に図形を弁別したりすることができるようにすることが大切。

平均正答率30%未満の児童の割合は、全国と比べると多い。

## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目の中から、上位2項目を抽出

| 理   | 問題番号          | 正答率 (%) |      |      | 県との差 | 全国との差 | 問題の概要                                     | 出題の趣旨  |
|-----|---------------|---------|------|------|------|-------|---|--|
|     |               | 中津市     | 大分県  | 全国   |      |       |   |  |
| 全体  |               | 56      | 60   | 57.1 | -4   | -1.1  |   |  |
| 課題① | 4<br>(3)<br>カ | 52.0    | 58.0 | 59.8 | -6.0 | -7.8  | 海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ。 | 水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる。          |
| 課題② | 4<br>(3)<br>キ | 55.9    | 60.6 | 60.9 | -4.7 | -5.0  | 水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ。     | 氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる。 |

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

| 正答数  | 割合(%) |      |      |
|------|-------|------|------|
|      | 中津市   | 大分県  | 全国   |
| 0～5問 | 16.5  | 12.5 | 16.4 |

## 2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

### 水の温まり方に関する指導

※観察や実験を行う上での全般的な指導にも通じるポイント

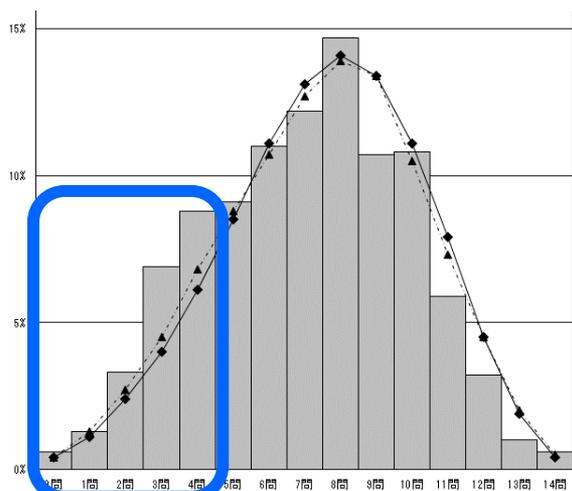
- 予想を基に解決するための観察、実験の方法を発想し、表現する。
- 問題に対するまとめを導き出す際、解決の方法が予想を確かめるために適切であったかを検討する。
- 自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深める。

平均正答率30%未満の児童の割合は、全国と同程度。

## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目の中から、上位3項目を抽出

| 問題番号 | 正答率（%） |      |      | 県との差 | 全国との差 | 問題の概要 | 出題の趣旨  |  |
|------|--------|------|------|------|-------|-------|--|--|
|      | 中津市    | 大分県  | 全国   |      |       |       |  |  |
| 全体   | 50     | 53   | 54.3 | -3   | -4.3  |       |  |  |
| 課題①  | 4二     | 21.2 | 26.8 | 30.1 | -5.6  | -8.9  | 手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見つけて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く。 | 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。 |
| 課題②  | 1一     | 27.7 | 32.2 | 35.2 | -4.5  | -7.5  | 変換した漢字として適切なものを選択する。（かいしん）                       | 文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる。                       |
| 課題③  | 2三     | 67.4 | 72.0 | 73.4 | -4.6  | -6.0  | 「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する。    | 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる。  |

正答数分布グラフ



平均正答率30%未満の割合

| 正答数  | 割合(%) |      |      |
|------|-------|------|------|
|      | 中津市   | 大分県  | 全国   |
| 0～4問 | 20.9  | 15.7 | 14.0 |

## 2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

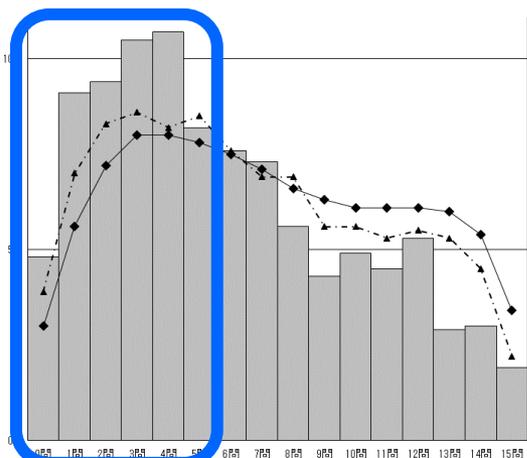
読み手の立場に立ち、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える際の指導

- 行事後に書いた作文など、これまでに書いた文章を時間をおいて読み返し、観点を明確にして文章を整えたり、具体的な相手を想定して読み返し、伝えようとする事が伝わるかどうかを確かめたりする学習活動を設定する。
- 必要に応じて接続する語や指示する語等を補うなどして、内容を捉えやすくすることができるようにする。
- 1人1台端末で文章を書くときには、コメント機能などを利用し、訂正した理由を挙げたり、整えた箇所を消さずに残したりして、自分の学習の状況を振り返らせる。

## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目の中から、上位3項目を抽出

|     | 問題番号     | 正答率 (%) |      |      | 県との差 | 全国との差 | 問題の概要  | 出題の趣旨  |
|-----|----------|---------|------|------|------|-------|--|--|
|     |          | 中津市     | 大分県  | 全国   |      |       |  |  |
| 全体  |          | 40      | 45   | 48.3 | -5   | -8.3  |  |  |
| 課題① | 9<br>(3) | 20.7    | 27.9 | 33.2 | -7.2 | -12.5 | 平行四辺形 $ABCD$ の辺 $BC$ 、 $DA$ を延長した直線上に $BE = DF$ となる点 $E$ 、 $F$ を取り、辺 $AB$ と線分 $FC$ の交点を $G$ 、辺 $DC$ と線分 $AE$ の交点を $H$ としたとき、四角形 $AGCH$ が平行四辺形になることを証明する。 | ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる。            |
| 課題② | 9<br>(2) | 24.2    | 29.5 | 36.3 | -5.3 | -12.1 | 平行四辺形 $ABCD$ の辺 $CB$ 、 $AD$ を延長した直線上に $BE = DF$ となる点 $E$ 、 $F$ を取っても、四角形 $AECF$ は平行四辺形となることの証明を完成する。   | 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる。 |
| 課題③ | 1        | 20.0    | 24.8 | 31.8 | -4.8 | -11.8 | 1 から 9 までの数の中から素数を全て選ぶ。  | 素数の意味を理解しているかどうかをみる。                             |

正答数分布グラフ



平均正答率 30% 未満の割合

- 中津市の生徒の2人に1人が、平均正答率30%未満。
- 平均正答率30%未満の生徒の割合は、全国と比べると多い。

| 正答数  | 割合 (%) |      |      |
|------|--------|------|------|
|      | 中津市    | 大分県  | 全国   |
| 0～5問 | 52.7   | 44.5 | 39.6 |

## 2 授業改善に向けて（主に課題①②と対応）

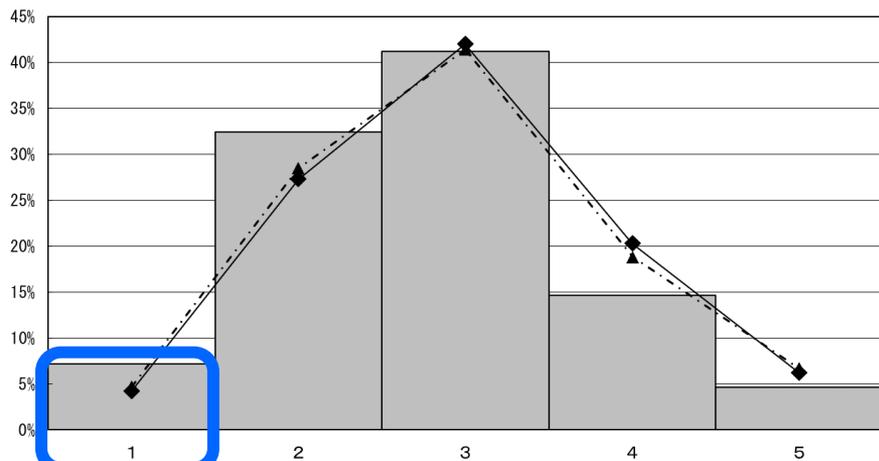
統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善する際の指導

- 証明したことを基に、条件を変えた場合の証明について考察する場面を設定し、条件を変えても変わらない関係や、条件を変えると変わる関係を見だし、元の証明を評価・改善することを通して、条件を変えた場合の証明ができるように指導する。

## 1 調査結果の分析 全国との差が-3%以上の項目の中から、上位3項目を抽出

|     | 問題番号     | 正答率 (%) |      |      | 県との差 | 全国との差 | 問題の概要   | 出題の趣旨  |
|-----|----------|---------|------|------|------|-------|---|--|
|     |          | 中津市     | 大分県  | 全国   |      |       |   |  |
| 課題① | 9<br>(1) | 20.6    | 26.4 | 31.8 | -5.8 | -11.2 | 【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する。                        | 気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる。 |
| 課題② | 8<br>(2) | 8.3     | 18.2 | 18.1 | -9.9 | -9.8  | Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようになればよいかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで示す。 | 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる。                      |

正答数分布グラフ



IRTバンド1の割合

| IRTバンド | 割合 (%) |     |     |
|--------|--------|-----|-----|
|        | 中津市    | 大分県 | 全国  |
| 1      | 7.2    | 4.7 | 4.2 |

IRTバンド1の生徒の割合は、全国と比べると多い。

## 2 授業改善に向けて（主に課題①と対応）

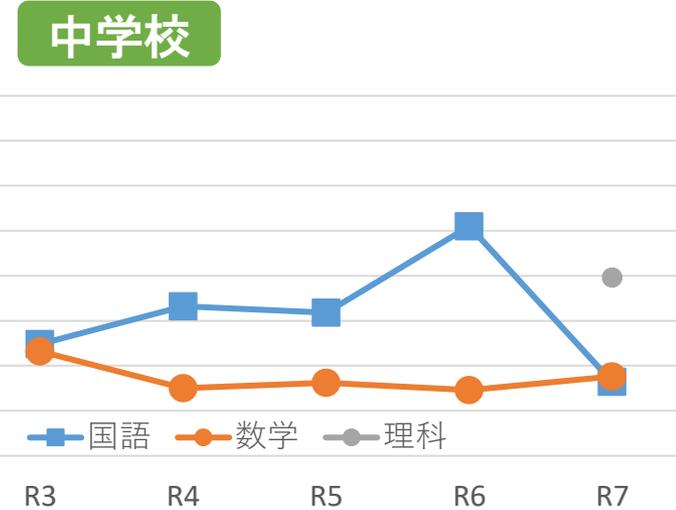
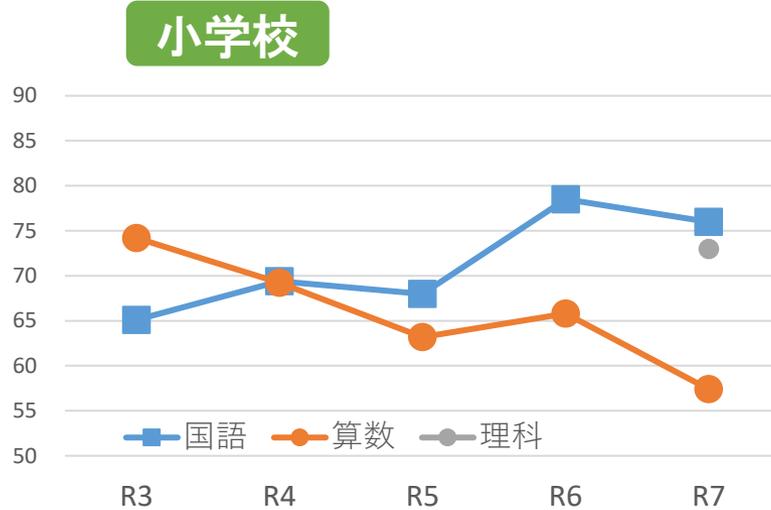
### 気圧について科学的に探究する指導

※観察や実験を行う上での全般的な指導にも通じるポイント

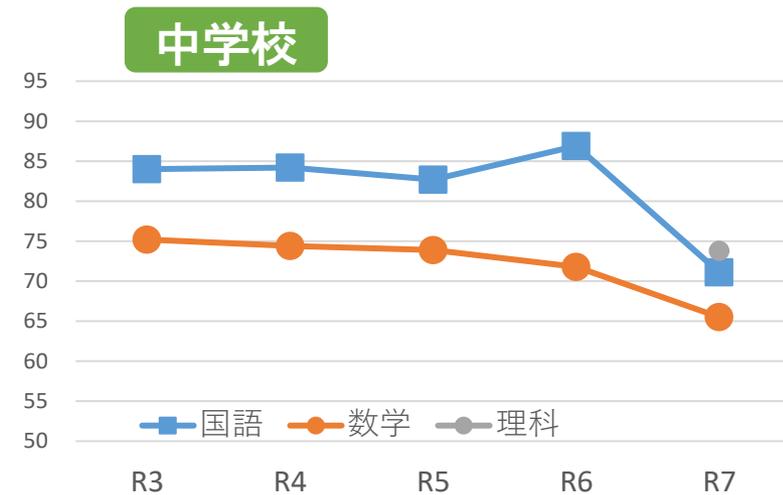
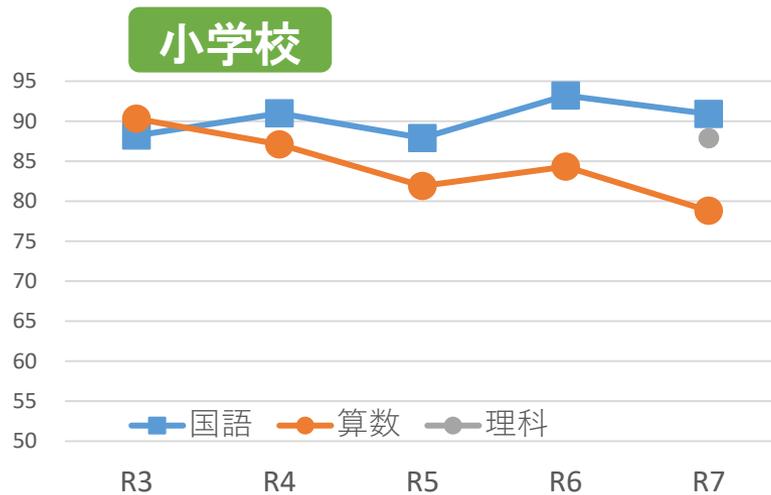
- 観察、実験の結果を分析して解釈し、予想を立てたり仮説を設定したりして、見通しをもって探究を進めていくことが大切。
- 授業では、見通しをもった探究の過程を通じて、「自己の考えがどのように変容したか」、「身近な生活にどのようにつながっているか」等に着目した振り返りを行うことが大切。

# 児童生徒質問調査「勉強が好き」「授業が分かる」の推移【R3～R7】

か。  
教科の勉強は好きですか。  
(肯定的回答割合)



りますか。  
授業の内容はよくわかりますか。  
(肯定的回答割合)



- 「教科の勉強は好きですか」の質問についての肯定的回答割合は、R6からR7にかけて、小学校の国語、算数、中学校の国語において減少。
- 「授業の内容はよくわかりますか」の質問についての肯定的回答割合は、R6からR7にかけて、全てにおいて減少。

# 児童生徒質問調査から見える児童生徒の現状

## 小学校

## 中学校

( ) は昨年度比

①将来の夢や目標を持っていますか。(肯定的割合)

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 83.1 | 82.8 | 80.2(-2.6) | -2.9  | -2.6 |

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 67.5 | 67.6 | 65.6(+4.7) | -1.9  | -2.0 |

②自分には、よいところがあると思いますか。(肯定的割合)

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 86.9 | 88.3 | 83.9(+0.4) | -3.0  | -4.4 |

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 86.2 | 87.0 | 83.9(+0.5) | -2.3  | -3.1 |

③学校に行くのは楽しいと思いますか。(肯定的割合)

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 86.5 | 87.4 | 84.8(+1.5) | -1.7  | -2.6 |

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|------|------------|-------|------|
| 86.1 | 87.9 | 88.0(+2.1) | +1.9  | +0.1 |

④学校の授業以外に、普段(月から金)1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【30分未満】**

| 全国   | 県    | 中津市        | 全国との差 | 県との差  |
|------|------|------------|-------|-------|
| 18.6 | 13.1 | 24.5(+3.7) | +5.9  | +11.4 |

| 全国   | 県   | 中津市        | 全国との差 | 県との差 |
|------|-----|------------|-------|------|
| 19.0 | 8.7 | 16.8(+5.3) | -2.2  | +8.1 |

⑤土日など学校が休みの日に1日当たりどれくらい勉強したか。(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【1時間未満】**

| 全国   | 県    | 中津市  | 全国との差 | 県との差  |
|------|------|------|-------|-------|
| 52.7 | 48.0 | 62.4 | +9.7  | +14.4 |

| 全国   | 県    | 中津市  | 全国との差 | 県との差  |
|------|------|------|-------|-------|
| 39.5 | 20.4 | 36.7 | -2.8  | +16.3 |

- ①「夢や目標」の項目で、小中学校ともに、肯定的な回答の割合が全国・県と比べて低い。
- ②「自分によいところがある」の項目で、小中学校ともに、肯定的な回答の割合が全国・県と比べて低い。
- ③「学校に行くのが楽しい」の項目で、小学校は全国・県と比べて低く、中学校は全国・県と比べて高い。
- ④「平日の学習時間」の項目で、「30分未満」と回答した割合が、小学校は全国・県と比べて高く、中学校は県と比べて高い。
- ⑤「週末の学習時間」の項目で、「1時間未満」と回答した割合が、小学校は全国・県と比べて高く、中学校は県と比べて高い。

# 学校質問調査から見える授業及び児童生徒の現状

## 小学校

全国との差が±3%以上の項目の中から、差が大きい2項目を抽出

|    | 番号 | 質問事項  | 中津市         | 大分県  | 全国   | 県との差 | 全国との差 |
|----|----|---|-------------|------|------|------|-------|
| 成果 | 9  | 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか                                     | <b>95.3</b> | 91.4 | 86.1 | +3.9 | +9.2  |
|    | 25 | 児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか                 | <b>95.2</b> | 91.8 | 89.3 | +3.4 | +5.9  |
| 課題 | 32 | 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか | <b>80.9</b> | 87.3 | 89.9 | -6.4 | -9.0  |
|    | 40 | 学習評価の方針を児童に示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか  | <b>81.0</b> | 89.7 | 89.5 | -8.7 | -8.5  |

## 中学校

全国との差が±3%の項目の中から、差が大きい2項目を抽出

|    | 番号 | 質問事項  | 中津市         | 大分県  | 全国   | 県との差  | 全国との差     |
|----|----|---|-------------|------|------|-------|-----------|
| 成果 | 34 | 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか                        | <b>100</b>  | 82.2 | 80.3 | +17.8 | +19.7     |
|    | 26 | 生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか | <b>100</b>  | 82.2 | 82.8 | +17.8 | +17.2     |
| 課題 | 66 | 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか【毎日持ち帰る】            | <b>10.0</b> | 39.0 | 49.5 | -29.0 | -39.5     |
|    | 51 | 理科の授業において、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか         | <b>90.0</b> | 94.9 | 93.9 | -4.9  | -3.9<br>9 |

# 中津市における今後の取組の重点

## 1. 徹底した補充学習や家庭学習を組織的・計画的に行う

- AI型ドリルを家庭学習や補充学習でも積極的に活用し、個別最適な学びで学力定着を図る。
- その日の学習内容、少し前の学習内容、かなり前の学習内容それぞれの復習に計画的に取り組み、「短期・中期・長期」を意識して学力定着を図る。
- 学力向上の取り組みを計画的・継続的に行えるよう「4点セット」や「学力向上プラン」に位置づける。

## 2. 習熟の程度に応じた指導の充実を図る

- その日の授業や単元において、児童生徒が何ができるようになることが目標なのかを明確にして授業を行う。
- 全ての児童生徒が目標を達成できるよう、適切なタイミングで児童生徒の学習状況を形成的評価で見取る。
- 児童生徒のつまずきの状況に応じて手立てを講じるとともに、必要に応じて補充学習や家庭学習につなげる。

## 3. 授業を見て学ぶ

- 「3つの提言推進校」である豊陽中学校が、組織的な授業改善を進め、全ての教科等において公開授業を行っている。また、中津教育事務所は、今年度より「垣根なき実践交流」として小中学校外国語の授業を管内3市で相互に参観できる仕組みを構築している。さらに、10月28日（火）には、山口小・三光中において中津市授業研究会を実施する。様々な機会積極的に授業を見て学び、授業改善につなげる。

**年度が替わっても、教職員が替わっても、子どもが替わっても必ず取り組み、常にどの学年・教科でも「偏差値50以上」の力を。**